

令和5年度 亘理町いじめ問題再調査委員会
第10回委員会 会議録

- 開催日時 令和5年10月25日(水)午後2時30分
- 開催場所 亘理町役場 2階 大会議室
- 出席者
長谷川啓三委員長、鎌田健司副委員長、川端壮康委員、佐々木央委員
- 説明のために出席した者
齋総務課長、久保参事兼総務班長

【公 開】

(長谷川委員長)

始めに本委員会の公開非公開の確認をいたします。

今回は遺族へのヒアリングを予定しておりますが、その進め方について、議論とか、確認する必要がございますが、どういたしましょうか？

しばらく、少し話してから、必要が出てきたらといたしますかね。

ここまでの議論では、奥様にインタビューをさせていただくと。

その際に、付き添いをしていただくと。

議論してますように、二次的な、心的な問題がありますので、こちらから用意するということもありえますので。

今日も来ていただいておりますので、その方は代理人ということになっておりますが。あのお願いをさせていただきたいと思います。

それが終了しましたら、あの今度お父様にお父様は同じような形でいいかという議論でございましたが、もしおひとりの方が良いというようなことがあります

したら、前に確認をさせていただいてから、そのようにさせていただきたいと思います。

それではいかがでしょうか？インタビュー入ります前に、この場で何か確認しておく事がございましたら。

(佐々木委員)

メーリングリストでやった、委員会の場では初めてですけども、担任の先生のヒアリングについて、非公式っていうんですかね、打診したところ、教育長から教育長のラインで、ネガティブな返事があったということだったんですけども、この経緯について、ご本人に話が行ったのか？行かないのか？ご本人の意向なのか？そのあたりが一番肝なので、あのそれだけでもいいので、ちょっと経過を説明していただけます？

(久保)

事務局の久保から説明させていただきます。

要望書を頂戴しましたということで、亘理町の奥野教育長に、ご本人にそういう要望が出てますので、コンタクト取っていただいて、その旨をお話いただいて、対応できるかどうかを聞いていただきたいということで、私の方から教育長にお願いしました。

それで、奥野教育長からは、岩沼市の教育長を通して、今在籍されてる学校の校長からご本人にその旨は伝わっている。ということで報告を受けました。

(佐々木委員)

伝わっていると。

(久保)

はい。

(佐々木委員)

メールでのネガティブな返事の内容としての1番の「当時の表現との齟齬がある」ということと、2番の「心理的な負担」というか耐えられないみたいな話っていう、あの1番と2番はご本人の意向ってことなんですか？

(久保)

はい。奥野教育長からは、ご本人がそういうふうに答えたと。

(川端委員)

ご依頼は文書で出されたんですか？

(久保)

私の方では口頭で確認いたしました。

(川端委員)

形としては残っていないということですね。

(佐々木委員)

その話は、僕が聞いた時にすぐ返事いただければ、それを受けてっていうので、あの前提条件が違ってくるので、今進んでる話は、それでもできるのか、できないのかってことになりかねないので、もうちょっと早く教えて欲しかった

たですね。この委員会の前にとってお願いしたはずなんですけど。それきりお返事いただけなくて。

それで委員長の方から個別に直接に委員長から要請するという今プランでのメール読んでらっしゃるからお分かりでしょうけど。でも、ご本人の方からそういう、かなり確定的な否定的な拒否的な返事があるとしたら、そういうやり方でいいかどうかというのはちょっと考えなきゃ。

(長谷川委員長)

うん、それは考えなきゃいけないね。まあ、後ほどっていうことで。

(佐々木委員)

終わりでやりますか？

(長谷川委員長)

あの、待っていただくのひどくない。終わりの方がいいじゃないですかね。

(佐々木委員)

分かりました。それは委員長にお任せします。

(長谷川委員長)

はい、そのようにいたしましょう。それではヒアリングを始めさせていただきますが、ここからは非公開とさせていただきます...